

2023年度

中部県土 海岸侵食対策実績

東伯海岸
L=3.6km

大栄海岸（大栄西地区）
L=3.5km

大栄海岸（大栄東地区）
L=3.1km

北条海岸
L=5.9km



令和5年11月

目次

- (1) 現状 海岸侵食の進行
- (2) R4 中部海岸サンドリサイクル実績
- (3) R4 取り組みに対する効果
- (4) R5 中部県土整備局の取り組み

八橋川西側

養浜するものの、海岸侵食されやすく、砂浜が形成されづらい。



由良川西側

養浜するものの、海岸侵食されやすく、砂浜が形成されづらい。



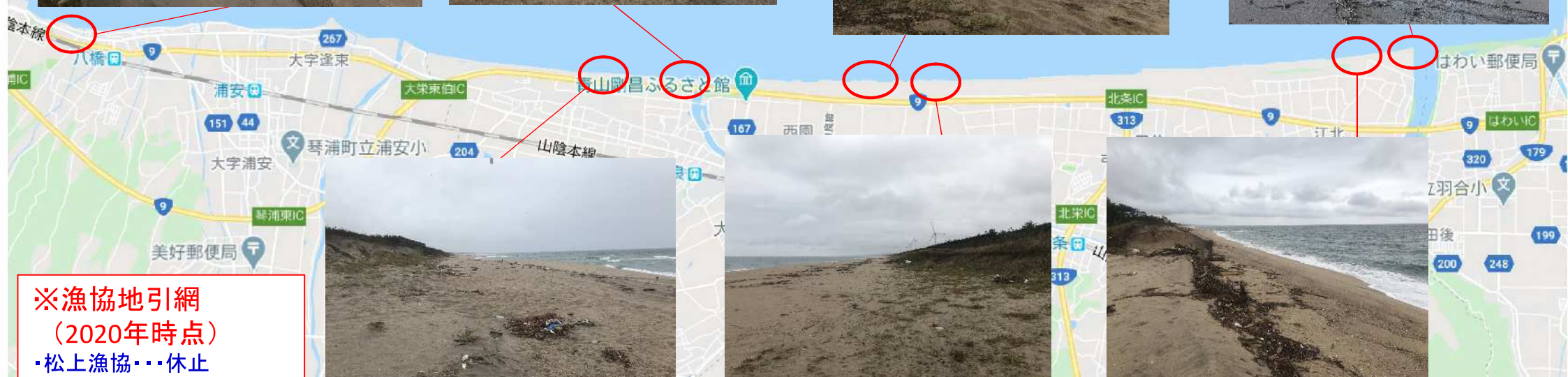
東園(西側)

海岸侵食により、建造物(漁協地引網小屋)に影響を及ぼす。砂浜を概ね維持している。



天神川西側

海岸侵食の影響が治山施設及び保安林へ影響を及ぼす。R4と比較して多少砂浜が形成されている。



- ※漁協地引網
(2020年時点)
- ・松上漁協・・・休止
 - ・東園・・・・・・活動
 - ・西園・・・・・・活動
 - ・大谷・・・・・・活動
 - ・妻波・・・・・・活動



大栄海岸
海岸侵食の影響が治山施設へ影響を及ぼす。砂浜を概ね維持している。



東園(東側)
浜崖の発生により漁協(地引網)の漁に支障をきたす。砂浜を概ね維持している。



東新田場
海岸侵食により、背後の保安林に迫っている。R4と比較して砂浜を概ね維持しているが堆積はしていない。

(2) R4 中部海岸サンドリサイクル実績

R5.3月時点

R4予算 30,000千円(ゼロ県) + 9,570千円(当初) = 39,570千円

- その他
- ・園川→隣接海岸(なし)
 - ・原川→隣接海岸(800m³: 随時)
 - ・宇谷川、石脇川→隣接海岸
 - ・泊漁港→宇谷海岸(56,000m³: 6~10月)
 - ・赤碓港(なし)
 - ・八橋海岸→隣接(1,200m³: 7,8月)
 - ・元旧川→隣接(なし)
 - ・茅町川→隣接(なし)
 - ・八橋川→隣接(50m³: 8月)
 - ・新川→隣接(50m³: 8月)

由良川右岸仮置砂 →左岸
(西側)海岸
V=180m³(R4.11月)

北条川放水路河口 →左岸
掘削・養浜
V=13,200m³(年間)
作業: 44回(300m³程度)

橋津川河口掘削
→はわい長瀬
運搬・養浜
V=3,500m³(R5.2月)

東伯海岸掘削
→八橋海岸 西側
V=1,000m³(R4.7月)

由良川掘削 →西側海岸
V=520m³(R4.11月)



(3) R4 取り組みに対する効果

海岸における砂浜の状況変化(1)



平成30年5月 撮影(治山施設被災後)

令和3年2月12日撮影

令和4年11月18日撮影



令和5年11月14日撮影



砂浜の形成はなく、経年変化は見られない。

<はわい海岸(天神川河口より右岸側の状況)>

(3) R3 取り組みに対する効果

海岸における砂浜の状況変化(2)



令和元年7月18日撮影



令和2年1月14日撮影



令和3年5月14日撮影



令和5年11月14日撮影



令和4年11月18日撮影



令和3年10月8日撮影



R4と比較して砂浜が堆積している。

<北条海岸(天神川河口より左岸側の状況)>

(3) R4 取り組みに対する効果

海岸における砂浜の状況変化(3)



砂浜を概ね維持しているが、多少浸食傾向となっている。

<北条海岸(天神川河口より左岸側の状況)>

(3) R4 取り組みに対する効果

海岸における砂浜の状況変化(4)



民生安定上の建造物への影響に配慮しR2秋に養浜を実施。



令和元年12月26日撮影



令和2年1月14日撮影



令和3年5月14日撮影



令和5年11月14日撮影



令和4年11月18日撮影



令和3年10月8日撮影

砂浜を概ね維持している。

<大栄東海岸>

(3) R4 取り組みに対する効果

海岸における砂浜の状況変化(5)



砂浜を概ね維持している。

<大栄東海岸>

(3) R4 取り組みに対する効果

海岸における砂浜の状況変化(6)



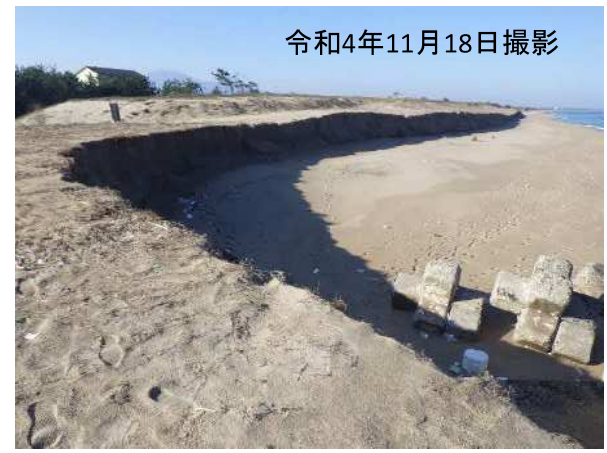
※国交省工事中により右岸側からの撮影不可のため左岸側から撮影

砂浜を概ね維持している。

<大栄東海岸(由良川河口より右岸側の状況)>

(3) R4 取り組みに対する効果

海岸における砂浜の状況変化(7)



砂浜を概ね維持している。

<大栄西海岸(由良川河口より左岸側の状況)>

(3) R4 取り組みに対する効果

海岸における砂浜の状況変化(8)



砂浜を概ね維持している。

<大栄西海岸 由良川河口より左岸側の状況>

- ・養浜を実施した北条川放水路西側海岸、由良川西側海岸、八橋海岸においては、砂浜を概ね維持している。
- ・養浜を実施したはわい長瀬の海岸においては、養浜しているものの砂浜は形成されていない。
- ・R4に養浜を実施していない海岸については、目視の限りだが、砂浜の大きな侵食は確認されず、概ね維持している。

⇒引き続き砂浜をモニタリングし、サンドリサイクルを実施していく。

(4) R5 中部県土整備局の取り組み

【R5】 中部海岸サンドリサイクル実施予定

R5予算 31,000千円(ゼロ県) + 15,580千円(当初) = 46,580千円

その他

- ・園川→隣接海岸
- ・原川→隣接海岸
- ・宇谷川、石脇川→隣接海岸
- ・泊漁港→宇谷海岸(1,700m³:5~10月)
- ・赤碓港(なし)
- ・八橋海岸→隣接(1,200m³:R5.7月)
- ・元旧川→隣接(50m³:R6.2~3月)
- ・茅町川→隣接(50m³:R6.2~3月)
- ・八橋川→隣接(50m³:R6.2~3月)
- ・新川→隣接(50m³:R6.2~3月)

由良川河口掘削
→西側海岸
V=1,000m³(R5.11月)

北条川放水路河口
→隣接
掘削・養浜
V=15,000m³(年間)
1日作業:50回(300m³程度)

橋津川河口掘削
→はわい長瀬
運搬・養浜
V=2,000m³(R6.2~3月)

東伯海岸掘削
→八橋海岸 西側
V=1,000m³(R5.7月)

